

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容	設問形式
A方式 11月2日 問題▶p.11~	第I問	読解	「オリンピック創成期」についての説明文	内容一致文の完成（適語選択）
	第II問	読解	図書館司書と生徒との会話文	空所補充（適語選択）
	第III問	読解	駐車場の利用案内	内容一致
	第IV問	語い・文法	1 熟語 2 時制 3 不定詞 4 文型 5 接触節	空所補充（適語選択）
	第V問	英作文	不定詞、受動態、熟語、接触節、前置詞、enough to ~の用法	語句整序
A方式 11月3日 問題▶p.13~	第I問	読解	「アメリカの国立公園監視員の仕事」についての説明文	内容一致文の完成（適語選択）
	第II問	読解	夕食について友達同士の電話での会話文	空所補充（適文選択）
	第III問	読解	旅行の予約サイト	内容一致
	第IV問	語い・文法	1 時制 2 数量形容詞 3 接続詞 4 助動詞 + 完了形 5 関係代名詞	空所補充（適語選択）
	第V問	英作文	形式主語、不定詞、too ~ to の用法、関係代名詞、熟語	語句整序
B方式 12月10日 問題▶p.15~	第I問	読解	「マハトマ・ガンジーの生涯」についての説明文	内容理解・内容一致（適語・適文選択）
	第II問	読解	面接の前に起きたトラブルについての友達同士の会話文	空所補充（適文選択）
	第III問	語い・文法	1 熟語 2 関係副詞 3 接続詞 4 動名詞 5 前置詞	空所補充（適語選択）
	第IV問	英作文	不定詞、使役動詞、接続詞、間接疑問、仮定法	語句整序

傾向

全体的に標準レベル。基礎的な語い・文法の知識が長文読解のカギ。

1 出題形式

全問マークシート方式の選択問題で、マーク数はA(11月2日)が30個、A(11月3日)が29個、Bが25個であった。試験方式による解答形式の違いはなかった。

Aの大問数は5問で、内容一致文を完成させる**英文読解問題**、空所補充形式の**会話文完成問題**、内容正誤を判別する**資料読解問題**、空所補充形式の**語い・文法問題**、語句整序形式の**英作文問題**が出題された。

Bの大問数は4問で、資料読解問題の出題はなく、Aよりも本文の分量、問題数ともに多い英文読解問題が出題された。英作文問題ではBのみ日本語が与えられた。会話文完成、語い・文法問題にAとの違いはなかった。

2 出題内容

読解問題はすべて**内容理解を問う選択問題**である。選択肢はほぼ全問英語で与えられており、本文の内容理解と共に本

文の内容を正しく言い換えている選択肢を見抜くための語い・文法力が必須である。会話文完成問題では、**会話文特有の表現や問答文**を理解し、会話の推移を正確につかむ力が問われる。語い・文法問題、英作文問題では、**不定詞や受動態、関係代名詞**など**基礎的な文法力**を問う問題が中心である。英作文では、基本的な文法や構文、イディオムの知識をもとに英文を組み立てる問題が出題されている。日本語をそのまま英語に置き換えられない問題も出題されているので、注意が必要である。

3 難易度

一般的に基礎から標準レベルのものが中心で、高校3年間で学ぶ基礎的な英文法の知識は必須である。読解問題では、前後の内容から難解な語の意味を推測したり文脈を把握したりする必要のある問題が多く出題されているので、基本的な語い力とともに**正確な読解力**が問われている。

対策

基礎から標準レベルの語い・文法の知識を固め、読解力向上につなげよう！

1 語い力・文法力の養成

難しい単語を多く覚えるよりも、教科書を中心に基本的な単語、熟語をおさえ、**言い換えや同義語**、接頭語、接尾語などの知識を身に付けて語い力を強化しよう。文法では、**時制、不定詞、関係代名詞**などの重要文法を確実に理解することに加え、**形式主語、受動態、仮定法、接続詞**など、決まった形を持った英語表現の知識も定着させよう。

2 会話文問題に慣れよう

会話文問題では、**会話特有の表現や問答のパターン**がよく問われるので、会話文読解の問題集などで様々なシチュエーションや会話のパターンに慣れておこう。前後の内容を的確に把握し、どのような趣旨の発言であるかを読み取る練習を積んでおきたい。

3 英作文対策

空所を含む英文と選択肢のみから文の意味を推測し英文を完成させたり、**自然な英語で日本語の意味を表現**したりできるレベルの**構文力**が必要である。文の要素（主語、動詞、目的語、補語、修飾語など）を正しく見分け英文を組み立てられるように過去問題などで問題形式に慣れておきたい。

4 読解力の養成

長文の内容理解の問題では本文全体の内容把握だけでなく、設問文と本文中の該当箇所を読み込み、各選択肢の微妙な意味の違いを正しく理解する力が問われる。読解力の基礎となる語い・文法力は必須であるが、標準的な読解問題集でわからない語句や表現がある場合も、**前後の文脈から意味を推測**したり**言い換えの表現に慣れたりする**練習が有効である。